

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月31日

事業所名 交野市立児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	21	1	・2の部屋は扇風機などで喚起できるように工夫している。 ・人数(クラス)に応じて部屋の広さをかえている。密を避けるように工夫している。	・設置基準は満たしているが、活動によっては手狭に感じる事があるので、さらに部屋の使い方を工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	22	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	22	0	・視覚支援(子ども)や、子どもの行動に合わせて構造化を取り入れている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	22	0	・毎日2回以上の消毒	・今年度、除菌・抗菌・消臭のため、光触媒コーティングを施工しました。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	21	1	・毎朝の朝会、また、保育終了後ケースを書きながら振り返る。	・日々の伝達事項や振り返りなどについて、全体的な共有がなされているか確認に努めます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	21	0 無回答 1	・1学期ごとの懇談、また必要に応じて懇談を設けている。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	22	0		・事業所評価、保護者向け評価について職員の会議で検討しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	12	10		・第三者評価の導入については、今後の検討課題といたします。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	21	1	・機会が少ないと感じる。外部への研修参加が少ないように思う。 ・年1~2回。発達障害に対する基本的知識等研修。	・今年度は、外部研修の開催自体が少なかったですが、オンラインでの研修には参加しています。今後さらに、内容等をセンター職員間で共有するようにします。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	22	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	22	0		・発達段階アセスメントシート使用
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	20	0 無回答 2		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	22	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	22	0	・毎月3分野(ごっこ・体育・リズム)の研修を行っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	22	0		
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	22	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	22	0	・アセスメントの時、子どもの様子を担任が見、保育初日までに打ち合わせをする。 ・毎日の朝会で、その日の療育内容・留意点、職員配置について話し合いや伝達を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	22	0	・担任、グループ、自発、主任、また必要に応じて保健、訓練と打ち合わせをする。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	22	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	22	0	・6か月ごとに中間の作成を行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	22	0	・主に相談支援員、必要に応じて児童発達管理責任者・主任が参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	22	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	22	0		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	22	0		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	22	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	22	0		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	21	0 無回答 1	・圏域の児童発達支援センターの交流会。研修に参加している。 ・相談支援員を介して、必要に応じて行っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	22	0	・全体交流はコロナの為に中止。4・5歳児のみ、可能な時期には公立園と交流保育を行った。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	20	1 無回答 1	・交野市自立支援協議会、交野市障がい児通所事業所連絡会等に参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	22	0		
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	22	0	・5歳児、および並行通園保護者に対して行った。	・他の学年は、学習会で対応しています。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	22	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	21	0 無回答 1		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	22	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	15	4 無回答 3	・保護者会は組織化されていないが、保護者学習会などの機会に保護者同士の連携を支援している ・給食後のアリス分離の時間を保護者同士のコミュニケーションタイムとしている。	・今後も保護者学習会等を通じて、保護者間の交流をサポートしていきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	22	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	22	0	・毎月センターだより発行 ・学期ごとに行事予定の掲示	・センターだよりは、ホームページにも掲載することになりました。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	22	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	22	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	17	1 無回答 4	・アリスの部屋を地域に開放しているが、それ以外は新型コロナウイルス感染症予防のため、外部の人の受け入れを中止している。	・アリスの部屋の開放を継続していくために、感染症対策等を徹底して行います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	21	1		・避難訓練は、設定を変えて毎月行っていますが、各マニュアルについても周知を徹底していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	22	0	・月1回実施 ・定期的に火災や地震などの訓練を行っている。子どもたちが驚かないように、段階的におこなっている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	22	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	22	0		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	20	1 無回答 1	・事故。ヒヤリハットの報告量が極端に少なく感じる。報告の際、謝罪的な雰囲気がある。	・ヒヤリハットの認識を見直し、小さな気づきも報告するようにします。また、書式の改善を行い、報告の業務改善を行います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	20	1 無回答 1		・来年度は職員だけではなく、「虐待」をテーマにした学習会を行う予定です。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	20	1 無回答 1	・契約時に説明しています。また、支援計画にも記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。